

今回のシンポジウムでは「所蔵資料」「建築」「地域とのつながり」の三つの観点から、新渡戸記念館が持つポテンシャル(価値)とその可能性を明らかにし、保存と活用に向けたあるべき姿を再発見していきます。

プログラム

【開会】 総司会：日高真吾 国立民族学博物館文化資源研究センター准教授
主催者挨拶：前田耕作 アフガニスタン文化研究所所長、文化遺産国際協力コンソーシアム副会長
来賓挨拶：内閣総理大臣夫人 安倍昭恵 様
ファッションデザイナー コシノジュンコ 様

【第一部 基調講演】

① 新渡戸稲造と文化の力

講師：青柳正規 前文化庁長官・東京藝術大学特任教授

② 新渡戸記念館を活かした歴史まちづくりについて考える

講師：三井所清典 芝浦工業大学名誉教授

【第二部 パネルディスカッション】

新渡戸記念館の価値をどう地域の未来に活かすか

コーディネーター：半田昌之 公益財団法人日本博物館協会専務理事

パネリスト：

[世界の中の新渡戸記念館]

前田耕作 アフガニスタン文化研究所所長、文化遺産国際協力コンソーシアム副会長

[生田勉建築としての価値]

竺覚暁 金沢工業大学教授、金沢工業大学建築アーカイヴス研究所所長

[地域博物館としての価値]

矢島國雄 明治大学教授、全日本博物館学会前会長

[外国人の視点から見た価値]

マンリオ・カデロ サンマリノ共和国特命全権大使、駐日外交団長

[十和田市民の視点から見た新渡戸記念館問題]

保土沢道是 新渡戸記念館をまもる会(save the towada)、十和田市民

[新渡戸記念館の所蔵資料の特長]

角田美恵子 新渡戸記念館ボランティアKyosokyodo学芸員

閉会挨拶：藤原洋 全国地域ミュージアム活性化協議会 事務局長理事

会場でのパネル展示

新渡戸稲造が残した小さな博物館「新渡戸記念館」の魅力～資料・建物・地域～

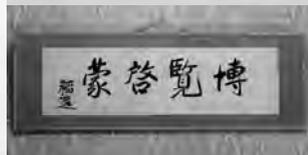
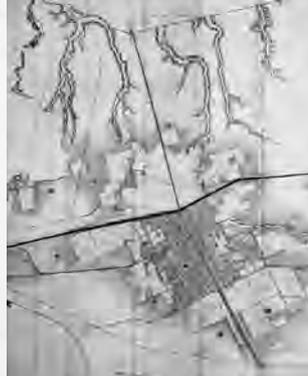
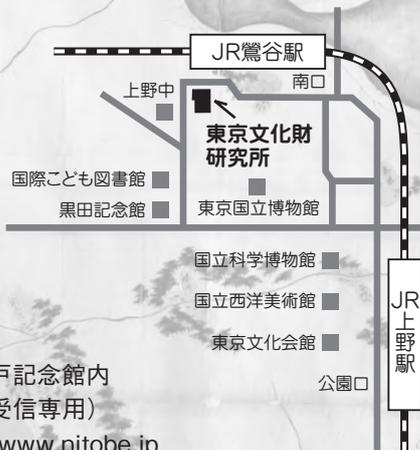
【申し込み方法】

8月31日(水)までにお電話、ファックス、メール、郵便にて必要事項をお知らせください

[必要事項]お名前、ご所属、ご連絡先(tel番号、メールアドレス)、懇親会出席の有無

【お申込み・お問い合わせ先】

シンポジウム実行委員会 事務局(担当:角田)
〒034-0031 青森県十和田市東三番町24-1 新渡戸記念館内
tel:080-5578-5939 tel/fax:0176-23-4430(受信専用)
メールアドレス:nitobemm@nitobe.jp ホームページ:www.nitobe.jp



【会場】

東京都台東区上野公園13-43
東京文化財研究所セミナー室
TEL:03-3823-2241

[シンポジウム実行委員会委員](五十音順) ○共同代表

大橋年雄 陶芸家、十一代大橋長左衛門 / 小川英晴 詩人、文芸評論家 / 川畑雅一 共同テレビプロデューサー / 栗原祐司 独立行政法人国立文化財機構本部事務局局長 / ○古賀菜貴雄 日本空港ビルディング顧問、一般財団法人日本のこころSoul of Japan 評議員 / コシノジュンコ ファッションデザイナー / 鈴木弘之 一般社団法人間代表 / 反町吉秀 元上十三保健所所長、医師 / 竺覚暁 金沢工業大学教授、金沢工業大学建築アーカイヴス研究所所長 / ○新渡戸常憲 新渡戸記念館館長、音楽評論家 / 林芳輝 岩手大学名誉教授、作曲家 / 半田昌之 公益財団法人日本博物館協会専務理事 / 日高真吾 国立民族学博物館文化資源研究センター准教授 / ○藤原洋 全国地域ミュージアム活性化協議会 事務局長理事 / 堀越千秋 画家 / ○前田耕作 アフガニスタン文化研究所所長、文化遺産国際協力コンソーシアム副会長 / 三井所清典 芝浦工業大学名誉教授 / 三浦昇 三浦昇事務所代表 / 矢島國雄 明治大学教授、全日本博物館学会前会長 / 山田利行 山田利行研究室室長、一級建築士 / 薬谷郁美 慶應義塾大学教授 / (事務局)新渡戸富恵 新渡戸記念館ボランティアKyosokyodo会長 / 角田美恵子 同ボランティア事務局、学芸員